

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための住民アンケート結果 (R1.5)

<回収率>

- ・ 前回よりも低い (H27 : 35.5%, R1 : 32.1%)
- ・ 特に 20 代, 30 代での回収率が落ちている
- ・ 10 代の回収率は比較的高い
- ・ 女性より男性の回収率が悪い
- ・ 地区別では, 布川地区が最も高く (33.4%), 文地区 (もえぎ野台含む) が最も低い (28.3%)

<あなた自身のことについて>問 1~7

問 5

- ・ 通勤通学先…町内が最も高く (15.7%), 次いで東京都内 (15.0%) となっている。
前回調査結果では, 東京都内が最も高かった (18.6%)。

<生活環境に関することについて>問 8~9

問 8

- ・ 利根町で生活する上で, 現在, 困っていることや不安なこと
前回調査結果と同様, 「あなた自身の通勤・通学が不便」が最も高く (25.4%), 次いで「台風・集中豪雨・地震など災害で被災のおそれがある」(23.8%), 「特にない」(16.8%) となっている。
前回と比較すると, 「台風・集中豪雨・地震など災害で被災のおそれがある」が 4.9%増加している。

- ・ 10 年後の生活を考えたとき不安なこと
こちらも前回調査結果と同様, 「親やあなた自身の介護が必要」が最も高く (39.4%), 次いで「近くで食料や日用品を買えない」(26.0%), 「台風・集中豪雨・地震など災害で被災のおそれがある」(24.6%) となっている。
前回と比較すると, 「台風・集中豪雨・地震など災害で被災のおそれがある」が 7.8%増加している。

◎前回と比較して, 変化があったことでは, 現在, 10 年後とも災害に関する不安を抱える人が多くなっている。また, 「通勤・通学が不便」や「近くで食料や日用品を買えない」に対する不安が依然高く, その他の意見の中でも現在, 10 年後とも「交通」及び「買い物 (お店)」に関する意見が多く見られた。

問 9

- ・ 利根町に愛着を感じているか
「愛着を感じている」または「どちらかといえば愛着を感じている」と回答した人が 64.2%となり, 前回の 63.2%より 1.0%増加している。(「愛着を感じている」に限っていえば, 前回 26.5%に対し, 今回 23.2%と減少している。)

・愛着を感じるまたは感じない理由は

愛着を感じる理由については、前回調査同様「静かで落ち着ける」が最も多く（55.6%）、次いで「緑や水辺などの自然に恵まれている」（52.7%）となっている。逆に、愛着を感じる理由で割合が低いものは、「すばらしい伝統文化がある」（2.2%）、「公園や道路などが整っている」（2.4%）となっている。

愛着を感じない理由については、「自然以外特にない」が最も高く（52.7%）、次いで「公共施設の利用が不便」（35.2%）となっている。前回より高くなっている設問としては、「自然以外特にない」（16.4%増）、「災害が不安」（9.8%増）、「なんとなく」（13.6%増）である。

◎6 割以上の人利根町に愛着を感じている結果になった。愛着を感じる理由として、「自然に恵まれている」を上げる人が多いが、対して、愛着を感じない理由の最も多かったのも、「自然以外特にない」と相反している。

<結婚に関することについて>問 10～15

問 13

・妊娠中、出産後に必要だと思う支援は

「おむつやミルクなどの購入への経済的支援」と「自分や子どもの病気時の対応」が同率で最も高く（56.8%）、次いで「配偶者（パートナー）や周囲の理解、協力」（54.1%）となっている。前回調査と比べて、「おむつやミルクなどの購入への経済的支援」が9.4%増加している。

問 14

・理想的な子どもの数は

前回結果同様、「2人」が最も高く（49.5%）、次いで「3人」（42.9%）となっている。また、子どもはほしくないとした人は、4.5%である。

問 14 (2)

・理想とする子どもの数より現在の子どもの数が少ない理由

前回結果同様、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高く（45.7%）、次いで「年齢的に産むのが難しいから」（33.1%）となっている。

問 14 (3)

・子どもを持つことを望んでいない理由は

前回結果同様、「年齢的・身体的に不安がある」が最も高く（52.9%）、次いで「今の生活レベルを維持したい」（29.4%）となっている。

◎子どもを持つことを望んでいない理由として、「今の生活レベルを維持したい」が高く、また、理想とする子どもの数が少ない理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が高いが、それに伴って妊娠中、出産後に必要な支援でも「経済的支援」を望む声が高くなっている。

問 15 (1)

- ・将来、結婚したいか

前回結果同様、「結婚したい」が最も高く (49.4%)、次いで「わからない」(39.1%) となっているが、前回と比較し、「わからない」が 18.7%増加している。

問 15 (2)

- ・何歳までに結婚 (再婚) したいか

前回結果同様、「26～30 歳以下」が最も高く (41.9%) になっている。

問 15 (3)

- ・結婚 (再婚) を考えるにあたって、心配や不安に思うことは

前回結果同様、「収入を確保すること」が最も高く (67.4%)、次いで「結婚相手を見つけること」(65.1%)、「子育てと仕事を両立させること」(41.9%) となっている。

問 15 (4)

- ・将来ほしい子どもの人数

前回結果同様、「2 人」が最も高く (60.6%)、次いで「3 人」(24.2%) となっている。現在結婚している人の理想と比べると (「2 人 (49.5%)」「3 人 (42.9%)」)、3 人と回答した人の割合は低い。

問 15 (5)

- ・結婚 (再婚) したくない理由は

「自分の時間を失いたくない・自分のしたいことを優先したい」が最も高く (50.0%)、次いで「経済面で不安がある」(41.7%) となっている。前回より高くなっている設問としては、「理想とする相手にめぐり合えない」(17.9%増)、「自分の時間を失いたくない・自分のしたいことを優先したい」(15.4%増)、「子育てが大変そう」(13.5%増) である。

◎40 歳以下の未婚者の結婚願望については、約半数が「結婚したい」としているが、「わからない」とする人も増加している。結婚に当たっては、現在結婚している人と同様、経済面での不安を抱えている人が多い。

<子育てに関すること>問 16～17

問 16

- ・利根町は子育てをするのに良い環境だと思うか

「はい」が 27.9%、「いいえ」が 17.6%となり、前回と比較して、「はい」が 1.1%増加している。

「はい」の理由としては、「自然環境が良い」をあげる人が多い。「いいえ」の理由としては、「交通の不便」「公園がない」「子どもが少ない」などの声が多い。また、「小児科がない」と記入する人も何人かいる。

問 17

・利根町ではどのような子育て支援の取組みが必要だと思うか

前回結果同様、「子育て世帯への経済的援助の充実」が最も高く（27.6%）、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」（24.3%）、「幼稚園での早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育の充実」（19.5%）となっている。

◎子育て支援については、「結婚に関すること」の設問と同様、「経済的援助」を望む声が多い。利根町は子育てをするのに良い環境だと思うか、には「はい」と回答した人の割合の方が高い。なお、「はい」とした人の理由で「自然と触れあい、のびのび育つ」が多いのに対し、「いいえ」と回答した人の理由では、「子どもをのびのび遊ばせる公園がない」とする人が多い。

<通勤・通学に関すること>問 18～23

問 18

・通勤・通学に要する時間

前回結果同様、「30分未満」が最も高く（36.5%）、次いで「1時間～1時間30分未満」（23.5%）となっている。

問 19

・通勤・通学に要する時間として許容できる範囲

「1時間～1時間30分未満」が最も高く（29.7%）、次いで「30分未満」（24.2%）となっている。

問 20

・通勤・通学する際の主な交通手段は

前回結果同様、「自動車」が最も高く（48.6%）、次いで「電車」（29.2%）となっている。

問 21 (1)

・主に利用する鉄道の駅は

「取手駅」が最も高く（46.1%）、次いで「布佐駅」（45.3%）となっている。前回と比較して、取手駅が13.3%増加しているのに対し、布佐駅が12.5%減少している。

問 21 (2)

・駅までは主にどのような手段で行くか

前回結果同様、「自転車」が最も高く（28.1%）、次いで「家族が運転する自動車」（24.2%）、「自分で自動車を運転し駅近くの駐車場にとめる」（21.9%）となっている。また、「民間路線バス」の利用者については、前回12.5%に対し、今回14.8%と2.3%ほど増加している。

問 22

・就職したり転職する予定・希望は

就職・転職希望とした中で、「町外」を希望する割合が、73.5%に対し、「町内」を希望する割合は、26.5%となっている。

問 23

・就職・転職するときの仕事を希望は

前回結果同様、「医療業」及び「公務員」が高い。

◎通勤通学の手段は、約半数が「自動車」となっている。電車利用者の利用駅については、前回布佐駅が最も多かったのに対し、今回調査では、取手駅の利用が最も多くなっている。後述記載の自由記述の中でも「栄橋の渋滞」にふれる声が多く、布佐駅の利用のネックになっていることが考えられる。民間路線バスの利用者は全体で見ると、多くはないが、アンケート結果上では、利用者が減少しているわけではない。

また、就職転職先を町外に求める人が多いが、こちらも後述記載の自由記述の中で、町内の就職先がないため、町内での新たな就職先の創出をあげる人が多い。

<居住に関すること>問 24～29

問 24

・今後利根町に住み続けたいか

「住み続ける予定」または「できれば住み続けたい」とした人が、61.5%、「できれば町外へ引っ越したい」または「町外へ引っ越す予定」とした人は、20.4%となっており、前回より「住み続けたい」とした人の割合が3.7%増えている。

問 25

・町外に転出するきっかけは

前回結果同様、「公共交通の利便性が悪いため」が最も高く（71.8%）、次いで「商業施設や医療機関が身近にある地域で暮らすため」（43.5%）となっている。

問 26

・転居する際に住まいや周囲の環境選びで特に重視することは

前回結果同様、「交通の利便性の良さ」が最も高く（69.5%）、次いで「日ごろの買い物などの便利さ」（50.4%）、「福祉・医療施設の利用のしやすさ」（25.2%）となっている。

問 27

・一度町外へ引っ越した後に、再び利根町に戻って住むことは考えられるか

「戻ることは考えていない」が最も高く（69.5%）、次いで「町外への通勤に支障がなければ戻りたい」（8.4%）となっている。

問 28・29

・転出した人・その理由

前回結果同様、転出した人では、「子ども」が最も多く（67.7%）、次いで「兄弟・姉妹」（35.7%）となっている。その理由についても、前回同様「結婚・出産を機に」が最も多く（55.7%）、次いで「町内に就職する場がないため」（34.8%）、「公共交通の利便性が悪いため」（25.8%）となっている。

◎利根町に住み続けたいとした人が、半数を超えるが、「利根町で生活する上で、現在、困っていることや不安なこと」でも上位にあった「交通」及び「買い物（お店）」の問題が、転出のきっかけとして大きくなっている。また、実際に転出した人の転出理由では、「町内での就職先」の問題も大きい。

<利根町のまちづくりについて>問 30～31

問 30

・利根町のまちづくりは、何を軸にして取り組むと良いか

前回結果同様、「高齢者福祉」が最も高く（42.4%）、次いで「子育て支援」（25.9%）となっている。また、前回と比較して、「観光振興」が 17.4%と 7.8%増加している。なお、その他の意見では「交通の整備」が多い。

問 31

・人口減少緩和に向けた取り組みについてのアイデア

「交通」や「就業」に対する意見が多く、また「公園整備」、「地域間の交流」、「教育」についてなど幅広い意見が聞かれた。また、「スポーツ施設」や「道の駅」を求める声も多い。